



《根馬和子》

官製談合防止法違反事件について

問 今回の不正入札事件の起こった要因は何か。

答 業者が職員へ入札について聞いて来る事に気づかなかった事だ。これは自分の監督不足と責任を感じる。また、上司・同僚等のコミュニケーション不足も要因となっていると感じている。(以下市長)

問 再発防止が重要だ。効果ある取組をどのように考えるか。

答 職員のコンプライアンス(遵法)の徹底のための講習会等と倫理・モラルをもってルール作りをしていく事と決意している。

健康政策について

問 過去3年間のがん検診の受診率はどうか。

答 胃・肺・大腸とも15〜20%の低迷状態だ。

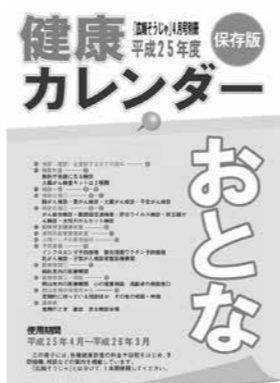
問 受診率と罹患率の関係はどうか。

答 受診率は下がり罹患率は上がっているのが現状だ。
問 受診率向上に向けた取組はしているが、その効果はどうか。

答 効果を期待して「総社マイポイント」制度をつくり受診率を上げて罹患する人の減少を図る。

問 子どもの健康問題で懸念する事は何か。

答 発達障害やアレルギーが多くなっている。



検診日程は健康カレンダーで確認



《萱野哲也》

結婚支援事業について

問 総社市として結婚支援事業に取り組む考えはないか。

答 総社市主催の婚活パーティーを開催する。(市長)

生活道路や通学路の安全対策について

問 企業誘致に伴い市内の交通量が増え、近隣住民や通学帰宅途中の児童が危険にさらされる事もある。車両の多い企業に交通安全の申し入れを行っていたか。

答 地域の声を聴き企業へ繋げていかなければならない。(市長)

消防団活動について

問 消防団の応援サポートと

障がい者雇用について

して、団員の買い物等に割引サービスを市内の各商店に呼び掛けてはどうか。

答 割引サービスも含め他の対応も考えていきたい。(消防長)

問 障がい者雇用のために、障がい者の方々が作る製品を「そうじゃ地食ベオンラインショップ」でも取扱いをしてほしい。

答 やっていかなくてはならない。(市長)



そうじゃ地食ベオンラインショップへ

市立美術館・博物館について



《村木理英》

問 必要性をどのように認識しているか。

答 必要に決まっていると認識している。(市長)

答 是非必要と考える。(教育長)

問 雪舟の作品展示の現実についての考えはどうか。

答 意義があることであり、実現することについての考えは以前と変わらない。(市長)

問 巡回しての墨彩画公募展入賞作品展示の実現についてはどうか。

答 賞金1億6000万円の予算を投じ購入している。子どもたちに見せたい。(市長)

問 美術館・博物館がないこと



高木聖鶴先生の文化勲章受章記念作品展(市図書館)

とが市民にどのような影響を与えると考えるか。

答 文化レベルが低いと言われても仕方がない。恥じる状態である。(市長)

問 建設時期をいつと定めるか。

答 学校給食調理場、一般廃棄物最終処分場の建設が控えており、必要と考えるが明言できない。(市長)

高木聖鶴先生の文化勲章受章を受けて



《加藤保博》

問 多くの市民が参加できる祝賀会などの計画はあるか。

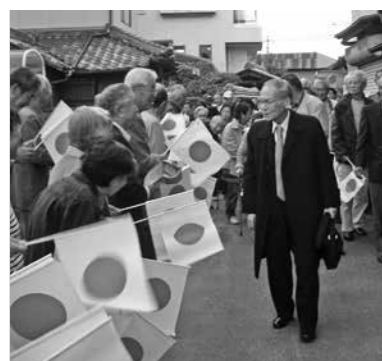
答 総社市を挙げての祝賀式典を予定していたが、高木家のご意向を優先し断念した経緯がある。(以下市長)

問 今回の功績を讃え、本市の今後の対応はどうか。

答 市民栄誉賞の贈呈を考えている。また、先生のお名前を冠した小中学生書道コンクールを毎年開催する。

問 記念館の建設が市としての責務と考えるがどうか。

答 財政面においても現状では困難である。来春開館する「総社吉備路文化館」に先生の顕彰コーナーを設け、常設



地元町内会による歓迎のようす(ご自宅付近にて)

展示するべく検討している。
教育行政について

問 中心部の大規模校では児童生徒数が増え続け、増改築が繰り返されている。教育環境の観点からも限界と考える。新設を含め、再編成が必要ではないか。

答 企業誘致、子育て支援策などにより、今後の増加も視野に入れていく。幼稚園は国の幼保一体化策を見据えながら、小学校は学校教育環境適正化審議会で検討中である。中学校は東西校とも適正規模を超えており、個人的ではあるが3校への分離を考えている。(教育長)